

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市新市民病院移転建替	階数	地上5F
建設地	吹田市岸部新町11番、13番、14番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2016年8月22日
敷地面積	17,814 m <sup>2</sup>	作成者	大成建設株式会社一級建築士事務
建築面積	1,427 m <sup>2</sup>	確認日	2016年8月22日
延床面積	6,433 m <sup>2</sup>	確認者	大成建設株式会社一級建築士事務所 松村正人

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 64%  
③上記+②以外の 64%  
④上記+ 64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 2.7	Q3のスコア = 3.0
音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.	機能性: N.A., 耐用性: 2.8, 対応性: 2.7	生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.2	LR2のスコア = 2.6	LR3のスコア = 3.6
建物外皮の: N.A., 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.4, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 4.4, 地域環境: 3.1, 周辺環境: 3.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
・本物件は吹田市新市民病院建替先の一部に立地し、病院の敷地内にあり、病院棟の隣に建設される駐車場棟である。高効率な照明器具を採用した環境負荷の低減に配慮した建物である。		
Q1 室内環境 ・評価対象外	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い主要設備機器の採用により、建物の持続性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。
LR1 エネルギー ・高効率な照明器具を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・化学薬品としての消火剤は使用しない事により、オゾン層破壊への配慮する。	LR3 敷地外環境 ・駐車場に十分なスペースを確保し、交通負荷抑制に配慮している。 ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0092

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)吹田市新市民病院移転建替工事(立体駐車場棟)					
	建設地	吹田市岸部新町11番、13番、14番					
	用途/区分	工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

<b>【評価項目】</b>				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.4	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 住戸・宿泊	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
<b>その他</b>				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				